

四四

苦闘と共に

変化から、これを解明すべく取り組みが進んでいる。

と同サイトは指摘する。

注目を集めるのは「ネクストストレイン」というウェブサイト。米フレッド・エバード。性がある。世界保健機関は新たな風土病となり得る可能性に発展する可能性がある。

「最も生存困難に遭った
危険なウイルスだ」。東京
大の山内一也名誉教授（ウ
ィルス学）は、遺伝子の変
異が起きやすく、動物から
人に移って生存領域を広げ
ていくコロナウイルスを、
こう表現する。

ナの進化と拡散をリアルタイムで追跡し、世界地図に表示している。

長い」との語彙を示した
世界中に広がった新型コ
ロナの根絶は、もはや難い
いだろう。今後はウイルス
を社会に受け入れ、共に生
きていく「共生」と向き合
う覚悟が問われる。

The diagram illustrates the global spread of COVID-19. A red circle labeled '1' at the top right indicates the origin in China. A red arrow points from China down to Asia. From Asia, blue arrows point westward to Europe and southward to Africa. Another blue arrow originates in Europe and points westward towards America.

※「ネクストストレイン」の資料を基
集団免疫のイメージ
 免疫がある人
 が全体の約7割に達すると、
 免疫がない人
 を守るように
 感染拡大が



新型

コロナウイルス感染症で免疫を獲得した人を示す抗体の保有率は、首ストックホルムで7・3%（4月末時点）にとどまり、集団免疫にはほど遠い。死者数は5千人をえ、人口100万人当たり500人程度で世界最悪とされる

都 氏は「さまざまなものウイルスや感染症への免疫を持つまいるからこそ、私たちちは遠様な環境の中で生きていらる」と話す。

本體制をきちんと構築しなればならない」と語る。コロナ後の社会について日本大の先崎彰裕教授（近代日本思想史）は「冷戦結構後のグローバル化で生기가不安定になつたことを在していた人々の不安が

遺伝情報で解明
新型コロナを制御し、共存しながら社会活動を維持するには、人から人へのどのように広がったのか把握することが重要だ。ウイルスの全遺伝情報（ゲノム）の行が世界的な戦いであるとをはっきり示している」

リカへ広がり、世界を1周してアジアで再び拡大したことなどが分かった。

鍵を握るのは、多くの人がウイルスへの免疫を持つことで、免疫のない人のバリアーの役目を果たして感染拡大を抑える「集団免疫」だ。長崎大熱帯医学研究所の山本太郎教授（国際保健学）は「自然に感染するか、ワクチンを接種することで、人々の約7割が感染を持てば獲得できるだろう」と指摘する。

は穏やかになっていく。
ウイルスも人を打ち負かす
ではなく、弱毒化する可

新規トコロ、(文部省)の
近い、(文部省)の
任者は3日、地元の「ジジイ
番組」で政策に「改善の
地」があったと認めた。

オペイン風邪で大被害を蒙ったが、新型コロナで検査体制の脆弱さが表面化しある。

本
身体
受け
にあるのは身近に感じら
るようになった死への恐怖
だという。目に見えないウ
イルスと共に生ができるかは、
心の中にまで及ぶ問題だ。
(小野晋史、松田麻希、伊
藤壽一郎)

集団免疫 感染症の防波堤

性が高まり、最終的には
通の風邪のような存在に
るというシナリオだ。

ワクチンがでまるまでは
治療薬を駆使して何とか
者を減らし、人同士の距
を取るなどして感染拡大

「過去の痛みをきちんと歴史に刻んでいかつた。感染症や公衆衛生に対する意識の薄れが露呈した」と壬人を死に距離開いた。

新たなウイルスに備え体制構築

心の中にまで及ぶ問題だ。
(小野晋史、松田麻希、伊

究所の山本太郎教授（国際たな感染が抑えられ、流傳

11

藤壽一郎